

# 日本細菌学会 2023年第4回理事会議事録

- 日 時：2023年12月22日（金） 13：00～16：00
- 会 場：東北大学東京オフィス + zoom形式
- 出席者（現地）：赤池孝章 理事長、  
飯田哲也、小椋義俊、垣内 力、菊池 賢、金城雄樹、  
寺尾 豊、藤永由佳子、横田伸一 各理事  
大崎敬子、柳澤直子 両監事  
出席者（zoom）：小松澤 均、富田治芳、内藤真理子、中根明夫 長宗秀明 各理事
- 欠席者：河村好章、川岸郁朗、東 秀明 各理事

※五十音順 敬称略

## I. 開会（理事長挨拶）

## II. 確認事項

前回理事会の議事録（案）について、追加修正なく議事録は確定した。

## III. 総会報告

### 1) 第97回総会準備状況報告（横田伸一 総会長）

総会のプログラムを中心に準備状況について説明がなされた。日韓シンポジウムについては、韓国側からの連絡が滞っているため、赤池理事長にも連絡調整に加わって頂くこととなった。

### 2) 第98回総会準備状況報告（藤永由佳子 総会長（内定））※2024年評議員会承認をもって正式決定

日程、会場などの準備状況について、配布資料の説明がなされた。

## IV. 報告事項

### 1) 総務部会報告

#### ①総務・渉外担当報告（河村理事、代理早瀬さん）

会員数の現況と推移について、配布資料の説明がなされた。

#### ②選挙関連担当報告（金城理事）

理事選挙等の結果について配布資料の説明がなされた。分野別での投票方法について、被選挙人の数に偏在が顕著であることが問題提起され、次期理事会で分野設定の見直しについて継続審議することとなった。

### 2) 財務部会報告

#### ①会費・会計担当報告（河村理事、代理早瀬さん）

2023年11月月次決算について、配布資料の通り報告がなされた。関東、中四国の両支部では本会からの支援を受けていながら参加費は無料であった。その件について理事会から説明を求めており、その回答について配布資料の説明がなされた。

### 3) 広報部会報告

#### ①広報・メディア分野担当報告（河村理事）

報告事項なし。

#### ②HP・SNS 分野担当報告（川岸理事）

報告事項なし。

#### 4) 産官学連携部会報告

##### ①産官学連携分野担当報告（菊池理事）

日本微生物研究所から支援をうけて市民公開講座の企画を検討していることが報告された。

#### 5) 学術部会

##### ① 学術支援・評価担当報告（長宗理事）

第 97 回総会のシンポジウム・ワークショップの公募状況について、資料の説明がなされた。計 24 企画の応募があり、現委員会で選考されることとなった。選抜ワークショップについては、次期委員会においての選考されることとなった。

##### ② 学術企画分野

###### 1. シンポジウム等企画担当報告（長宗理事）

5)①でまとめて報告がなされた。

###### 2. バイオセーフティー担当報告（飯田理事）

指針の発刊、販売状況について説明がなされた。現在までに 107 冊が販売されたことなどが報告された。

###### 3. ICD 制度協議会等担当報告（菊池理事）

細菌学会を推薦希望学会として、2 名の ICD の推薦があったことの報告がなされた。

##### ③ 学術交流分野

###### 1. 日本微生物学連盟／日本学術会議担当報告（金城理事）

第 97 回総会において日本微生物学連盟共済のシンポジウムが企画されていることの報告がなされた。

###### 2. 日本医学会連合担当報告（金城理事）

日本医学会の会長選任についての報告がなされ、細菌学会からリトリート参加推薦者 2 名（旅費と参加費は日本医学界連合が負担）などについての説明があった。

###### 3. 予防接種推進専門協議会担当報告（菊池理事）

第 2 日曜日に定期的な会議が開かれており、感染研から A 群溶連菌感染症が増加しているという話題提供があったことの報告がなされた。

#### 6) 教育部会報告

##### ①次世代教育・人材育成担当報告（垣内理事）

報告事項なし。

##### ②教育資源発掘・保存担当（内藤理事）

報告事項なし。

#### 7) 出版部会報告

##### ①学会誌担当報告（藤永理事）

報告事項なし。

##### ② M I 誌担当報告（寺尾理事）

出版状況、投稿数、次期委員などについて配布資料の説明がなされた。

##### ③用語集担当報告（富田理事）

報告事項なし。

#### 8) 国際交流部会報告

##### ①IUMS 等担当報告（東理事）

報告事項なし。

##### ②日韓微生物等担当報告（小松澤理事）

報告事項なし。

#### 9) 社会交流部会

##### ①研究倫理・安全保障分野担当報告（赤池理事長）

報告事項なし。

## ②利益相反担当報告（中根理事）

報告事項なし。

## 10) その他

### V. 審議事項

#### 1) 名誉会員選考委員会の選考結果について

神谷茂博士、中山浩次博士の両候補者の推薦理由と選考過程について資料の説明がなされ、異議なく承認された。

#### 2) 名誉会員選考委員による推薦の可否について

林委員長からの推薦者の利益相反に関する3通りの対応策について説明がなされ、協議の結果、「選考細則はそのままにして、申し合わせの形で、推薦者は当該候補の選考作業から外れる」という案で今後対応することとなった。

#### 3) 学会賞選考委員会の選考結果について

浅川賞2名、小林六造記念賞2名、黒屋奨学賞4名の推薦があり、浅川賞は宮田氏、小林六造記念賞は浜本氏、黒屋奨学賞は平松氏と李氏がふさわしいとの結論を得たことの説明がなされ、異議なく承認された。

#### 4) 学会賞選考委員会の申し合わせ および 来年の推薦要項の改定について

・「他の学会賞との業績重複」に関する情報の公開について

申し合わせについて、「他の学会賞」を「他の日本細菌学会賞」と変更する。

黒屋奨学賞については、「基本的には考慮しないが、同年度での重複は避ける」という記載を削除し、「原則として考慮しない」に変更する。小林六造記念賞については、「同年度での重複は避ける。審査年度が異なる場合でも、研究内容や成果の重複が甚だしい場合は、審査の際に考慮することとするが、被推薦者による当該論文をもとにした新たな研究の進展等が明らかな場合は除く。」という申し合わせ文章の「同年度での重複は避ける。審査年度が異なる場合でも、」を削除し、それ以外を残す。

小林六造記念賞の応募要項（4）「なお、他の日本細菌学会賞との重複については、研究内容や成果の重複が甚だしい場合は、審査の際に考慮することとする」を追記する。

協議の上、以上の改定が承認された。なお、改定した日付を記載することとなった。

・黒屋奨学賞の募集要項について

資料の通り、主要論文に関する記載を変更することが異議なく承認された。

・被推薦者への選考結果内容のフィードバックについて

選考委員会の申し送りについて、配布資料の説明があった。選考委員会では、「応募者のモチベーションを高め、審査の公平性・透明性を高めるためにも応募者に開示した方が良い」との結論に至っていたが、理事会では、「選考委員の不利益や負担が増えないようにする必要がある」などの理由から、議論を持ち越す事となった。総会での報告の際に、総評することがある（不採択者についても）とするのがいいのではないかと意見もあった。

・利益相反の関係性の基準について

改定案について配布資料の説明がなされた。「かつ同じ研究室に所属している場合（過去を含む）は該当する」の（過去を含む）という条件は厳しすぎるのではないかという意見もあり、改定は見送り、継続審議することとなった。

**5) 各支部からの 2024 年活動支援要請について**

赤池理事長から各支部への支援金について以下の提案がなされ、協議の結果、異議なく承認された。

北海道支部: 10 万円。理由: 会計が詳細に記載されておらず、参加費も無料であるため。

東北支部: 40 万円。要望通り。

関東支部: 20 万円。理由: 繰越金が多く、参加費も無料であるため。

関西支部: 10 万円。理由: 具体的な金額の要望がなかったため。

中国四国支部: 25 万円。理由: これまでの実績を考慮した。

また、要望書の様式については改善が必要であることが協議され、継続審議することとなった。

**6) 第 97 回総会のプログラムについて**

配布資料の説明がなされ、異議なく承認された。

**7) 次期理事への引き継ぎについて (MI 誌、利益相反、学術支援評価、シンポジウム等企画調整、広報)**

資料の説明がなされ、異議なく承認された。引き継ぎ事項の要約を作成して事務局に残すこととなった。

**8) 口腔保健協会との 2024 年度の契約について**

資料の説明がなされ、異議なく承認された。

**9) その他**

第 98 回総会の予算案について、総会長から資料の説明があり、会場費等の負担が大きいため総会準備金を 400 万円へ増額することが希望された。協議の結果、承認されたが、赤池理事長から参加費を上げることも含めて再検討するように提案がなされた。

また、総会長の決定時期を早めることが提案され、今後検討することとなった。

**VI. 閉会**